



# みなみ日記



## 令和5年度 第1学年芸術鑑賞会が行われました。

芸術の秋。今年度は博多座で「西遊記」の鑑賞です。（大人世代には大変なじみのある作品です。）博多座での観劇、そして豪華キャストということもあり、生徒の皆さんはこの日を心待ちにしていました。

実際に博多座に足を踏み入れた時、その建物や内装の豪華さに「すごい」「素敵」という声があちこちから上がっていました。非日常の世界に皆自然と笑みがこぼれてきます。

劇が始まると、歌舞伎役者である片岡愛之助丈演じる孫悟空を中心とした各キャストの熱演に引き込まれました。公演前のTV番組等でも紹介してあったとおり、フライング（ワイヤーにより飛ぶこと）あり、斬新な視覚効果あり、コミカルな要素ありと、新旧ハイブリッドな舞台でした。筋斗雲で空を飛ぶシーンが普通に見えてしまうほど、圧倒的な仕掛けがたくさんありました。

また三蔵法師が緊箍経（きんこきょう）を唱えると、孫悟空の頭にかぶせられた緊箍児（きんこじ）が狭まり、悟空の頭を締め付けるシーンや、沙悟浄と猪八戒、玉竜のコミカルなやりとりのシーンなどで笑いが起こっていました。

劇終盤では松平健さん演ずる牛魔王、中山美穂さん演ずる鉄扇公主の夫婦のストーリーも絡み、感動的なエンディングとなり、生徒の皆さんは大興奮でした。最後のカーテンコールまで生徒は感動し、魅了された一時を過ごしました。一流の劇場で一流の娯楽に触れる機会に恵まれたことに感謝して、今後も機会があれば是非舞台やミュージカルなどに触れて欲しいと思います。

